

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公表番号】特表2012-509496(P2012-509496A)

【公表日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2011-536384(P2011-536384)

【国際特許分類】

**G 02 B 5/30 (2006.01)**

【F I】

**G 02 B 5/30**

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月10日(2012.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 少なくとも0.15の面内複屈折を632.8nmにて有する複屈折熱可塑性ポリマーを含む少なくとも1つの第1光学層と、

(b) 0.040未満の面内複屈折を632.8nmにて有する少なくとも1つの第2光学層と、を含み、前記第2光学層が、少なくとも1つの複屈折熱可塑性ポリマー及び少なくとも1つの第2熱可塑性ポリマーからなる、20~80モル%の共重合ブレンドを含む、多層光学フィルム。

【請求項2】

少なくとも0.15の面内複屈折を632.8nmにて有する少なくとも1つの第1光学層であって、100%のカルボキシレートサブユニットに対して少なくとも70モル%のナフタレートサブユニットを含む複屈折熱可塑性ポリマーを含む第1光学層と、

0.040未満の面内複屈折を632.8nmにて有する少なくとも1つの第2光学層と、を含み、前記第2光学層が、100%のカルボキシレートサブユニットに対して少なくとも20モル%のナフタレートサブユニットを含む複屈折熱可塑性ポリマーと、少なくとも1つの第2熱可塑性ポリマーの共重合ブレンドと、を含み、前記共重合ブレンドが前記第1光学層の前記複屈折熱可塑性ポリマーよりも少なくとも10低いTgを有する、多層光学フィルム。

【請求項3】

光学フィルムであって、

請求項1に記載の前記多層光学フィルムを含むベース層と、

前記ベース層上に配置されたマイクロ構造化表面層と、を含む、光学フィルム。

【請求項4】

100モル%のカルボキシレートサブユニットに対して、少なくとも70モル%のナフタレートサブユニットを含む、632.8nmにて少なくとも0.15の面内複屈折を有する少なくとも1つの第1光学層と、

632.8nmにて0.040未満の面内複屈折性を有する少なくとも1つの第2光学層と、を含み、前記第2光学層が、100モル%のカルボキシレートユニットに対して少なくとも20モル%のナフタレートユニットを含み、該多層光学フィルムが、少なくとも6の反復単位の平均ブロック長を有するポリエチレンナフタレートのブロックを含む、多

層光学フィルム。

【請求項 5】

100モル%のカルボキシレートサブユニットに対して、少なくとも70モル%のナフタレートサブユニットを含む、632.8nmにて少なくとも0.15の面内複屈折を有する少なくとも1つの第1光学層と、

632.8nmにて0.040未満の面内複屈折性を有する少なくとも1つの第2光学層と、を含み、前記第2光学層が、100モル%のカルボキシレートサブユニットに対して少なくとも20モル%のナフタレートサブユニットを含み、該多層光学フィルムが、90°剥離試験によれば少なくとも500g/インチ(196.9g/cm)の粘着力の中間層を示す、多層光学フィルム。